



家族介護の支援について

～認知症の家族介護支援、介護者教室の取組から～



令和6年7月25日

江津市地域包括支援センター

西谷 真

江津市の紹介

- 人口 21,464人、高齢化率 40.7% （2024年3月31日時点）
- 総世帯数に占める高齢夫婦世帯の割合は17.2%（県13.5%）
75歳以上の単身世帯の割合は12.6%（県7.7%）
→独居、高齢者夫婦世帯への支援が必要
- 地域包括支援センター 直営
ブランチ型4か所（在宅介護支援センター）



江津市地域包括支援センターの紹介

■ 職員体制

- ・ センター長（保健師、主任介護支援専門員）
- ・ 主任介護支援専門員（社会福祉士）
- ・ 社会福祉士
- ・ 保健師（介護支援専門員）
- ・ 管理栄養士
- ・ 認知症地域支援推進員
- ・ 介護支援専門員 4名



本日の報告内容

- 1. 「介護者の集い」について
(認知症施策推進事業)
- 2. 「家族介護者教室」について
(家族介護支援事業)

1. 介護者の集いについて

■ 開催状況

- ・ 年6回（2か月に1回）開催
- ・ 対象：認知症の家族を介護している人
- ・ 認知症地域支援推進員が中心となり運営

■ 内容、テーマ

- ・ 座談会：その日に話したいことを自由に語ってもらう
- ・ ミニ学習会：参加者の知りたいことや疑問に応じて随時実施



認知症地域支援推進員



ボランティアさん

認知症の家族を介護している人の交流会

介護者の集い

認知症の介護でお悩みの方が、誰でも気軽に
参加して『話をする』『話を聞いてもらう』
『認知症について知る』ことができる場所

ホットスペース

気軽に来てみませんか？

令和6年度
日程

5月21日(火)	7月13日(土)
9月17日(火)	11月19日(火)
令和7年1月18日(土)	令和7年3月18日(火)

(開催月の広報かわらばんでお知らせ)

時間 午前10時～11時30分

場所 江津市職員会館

参加費 100円(お茶代)

参加者の声

皆さんの話を聞いて気持ち
が楽になりました

介護のアドバイスを
もらい助かります

仲間と出会い、自分1人だ
けが大変ではないと思えた

ここに来て皆さんの顔を
見ると元気が出ます。

お問い合わせ: 江津市地域包括支援センター 52-7488

1. 介護者の集いについて

■ きっかけ、経過

- ・平成31年3月 「男性介護者の集い」として開催
認知症地域支援推進員が対応する中で、男性介護者が抱え込んでいる現状を知り、話せる場の必要性を感じた。
- ・令和3年5月 「介護者の集い」に変更
参加者から、女性介護者の話も聞きたいという声により変更

1. 介護者の集いについて

■ 工夫

- ・ 周知 チラシ作成、ホームページ掲載、防災無線市の広報紙に掲載、声掛け
- ・ 運営 ボランティアの協力
- ・ 曜日 R6年度から試行的に土曜日開催を設定

1. 介護者の集いについて

■ 参加者の声より (参加者のひとりが集いで話されたこと)

- ・ 認知症の妻が特養入所。
- ・ 入所時に終末期の医療について意向確認があった。
- その時にはじめて本人の意思確認ができていないことに気づいた。
「家族として後悔が残っている」と思いを話された。

気づきの共有

- ・ 参加者 今後の集いで未来ノート(ACP)の活用方法を学ぶ予定。
- ・ 支援者 早い段階からACPの取り組みが必要だと改めて感じた。

1. 介護者の集いについて

■ 課題、今後に向けて

- ・ 参加者の固定化
- ・ 就労している人、若い世代の介護者が参加しにくい。
- ・ 自宅での介護が終了した人の参加が多くなってきている
今の家族のニーズは？
介護が終了した人→ピアサポーターのような存在で関わってもらえると良いかも。
- ・ 認知症以外の介護者も参加できるような場の検討



2. 介護者教室について

■ 開催状況

- ・ ブランチ（在宅介護支援センター）4か所と協力して開催
市全域を対象に1回
各地区の在宅介護支援センターで企画して開催

■ 内容、テーマいくつか

- ・ 全体は学習会形式（令和5年後はACP、看取り）
- ・ 各地区は介護者相互の交流を大切にした企画
熱中症・脱水、防犯、認知症、災害等

介護者教室のご案内



「人生の最期までを自分らしくどう生きたいか」

家族で話をしたことがありますか？

家で看取りを経験した介護者の体験談を通して、今後の医療や介護について考えてみませんか。

開催日時 令和5年11月17日(金)
13時30分～15時
(受付は13時より開始)

開催場所 総合市民センター2F 大会議室

講演内容 「家で看取るということ」
～介護者の体験から～

講師 ●済生会江津総合病院
緩和ケア認定看護師
津枝 忍 氏
●介護体験者
村田 淳子 氏
*参加料は無料です。

申し込み締め切り 令和5年11月10日(金)

申し込み・問い合わせ先

- ・江津市地域包括支援センター(電話 52-7488)
- ・担当ケアマネジャー ・各在宅介護支援センター



介護者教室の様子

10月5日(水) 江津市総合市民センターで開催。

フレイル予防について食事を中心に講演していただきました。

クイズを交え、楽しくわかりやすく聞かせて頂きました。





2. 介護者教室について

■ きっかけ、経過、工夫

- ・ 老々介護、単身世帯が多い地域で、介護者の支援が必要。
- ・ 各地区の在宅介護支援センターで企画し身近な地域での開催。

■ 参加者の声（R5年度ACP、看取りについて）

- ・ 支援を受けながら自宅で過ごさせてあげられるとわかった。
- ・ 認知症の妻を介護しているが、本人がどうしたいかが分からないのが現状。
- ・ 相談の場があることが分かった。



2. 介護者教室について

■ 今後に向けて、課題

- ・ 潜在化している介護者のニーズをどう把握するか
- ・ ホームページやSNSを活用した情報発信
- ・ ケアマネ、民生委員等関係者で家族介護者支援の取り組みや方針の共有

さいごに

■ 取り組みを振り返って

- ・ 当事者同士だからこそ話せる場所があること
 - ・ 介護をしている人、していた人の実際の声を聞く貴重な機会
 - ・ 参加者の声（地域課題）を日々の取り組みにつなげていくことが必要
-
- ・ 江津市高齢者福祉計画（令和6年度～令和8年度）においては、第3章第3節に「家族介護者の支援」を掲載しています。
これからも取り組みを継続していきます。

ご清聴ありがとうございました。